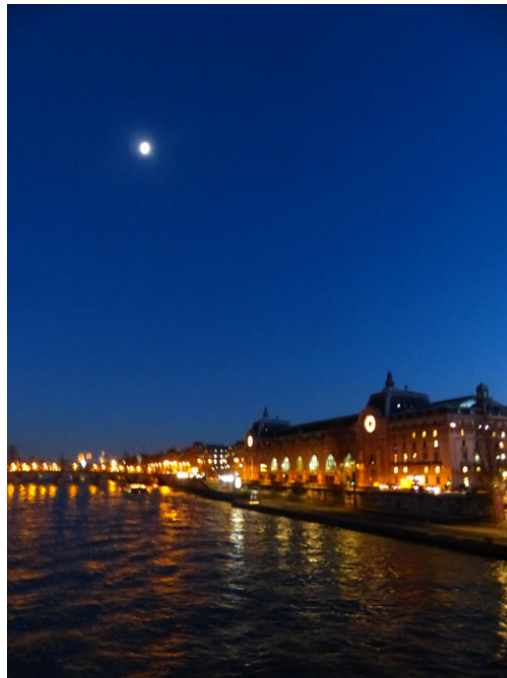
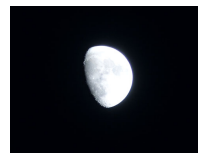
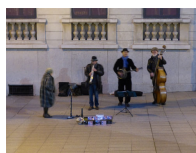


3351 **パリ旅情：月とオルセー美術館**

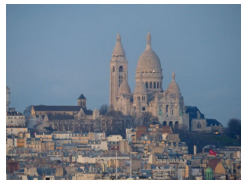
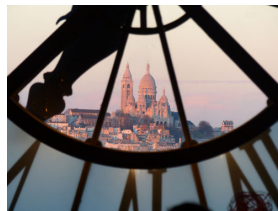
今回のパリ再訪、魅力の一つは、美術館めぐりとセーヌ河畔の散策。
年明けのセーヌ河畔は、水嵩みづかさが増えて、濁流が散歩路を覆い隠した。空には月の光が煌々こうこうと。
ラッキー、スマイルオンミー。日本で見る月と、同じ月だが、感じ方が違った。
曇天続きの天候だった。このひとときの「有難さ」。



オルセー美術館、時計が象徴として、強く印象に残っている。
路上では寒空の下素敵な音楽。私はパートナーなし。しかし、大人の一人旅は夢とロマン。
寂しさはない。夜の食事を一人楽しみながら、道行く人をながめる至福のひととき。



オルセー美術館内のレストラン、昔話だが、友人とのひとときを思い出した。
フランスでも世の中の様変わりを痛感。この時間は、頑張ったご褒美かも、と思いながら…
いろいろ思いを馳^{はせ}ながら、窓の外の光景に想像をふくらませた。



今回、思い切ってフランスを訪ねてよかった。懐かしい絵画や彫刻を楽しみ、
この日の窓からのモンマルトルやルーブル美術館が目に。晩年の人生目標も再確認できた。

人生は、選択と決断の繰り返し。一人旅は学びと気づき。引き際も。

1ヶ月のフランス滞在を思い切り楽しみたい。明日は、新凱旋門のデファンスへ。